

平成22年3月26日

全駅・全ホームへの「ホーム点字ブロック内方線」 整備が完了しました

京阪電気鉄道株式会社（本社：大阪市中央区、社長：上田成之助）では、すべてのお客さまにやさしい駅をめざし、エレベーターやスロープによる段差解消などを中心とした、駅のバリアフリー化に取り組んでいます。

その一環として、順次作業を進めてきた「ホーム点字ブロック（ホーム縁端警告ブロック）内方線」を当社全88駅・全ホーム208カ所（京都市交通局管理の御陵駅除く）に設置する工事が3月24日（水）をもって完了しました。

ホーム点字ブロック内方線は、視覚に障がいをお持ちの方が、駅のプラットフォームをご利用になる際、点字ブロックよりホーム中心側にいらっしゃるか線路側にいらっしゃるかをお知らせするためのもので、ホーム下への転落事故の防止に効果があります。

ホーム点字ブロック内方線の法的な敷設基準は、駅の新設時や大規模改良時にのみ設置義務があり、既設ホームはその対象外となっていますが、当社では、より安心・安全な駅をめざし、全駅・全ホームへ設置することにしました。

今後も駅のバリアフリー化をはじめ、すべてのお客さまにご利用いただきやすい駅づくりを進めていきます。



以上